

第18回自治体国際交流表彰の受賞団体の取組について

公益財団法人 兵庫丹波の森協会(兵庫県)
交流先 : オーストリア共和国 ウィーン市13区ヒーツィング地区

- 「森の文化」をテーマとした地域づくりを自治体が協働して行うために、当時丹波地域を構成していた10町(現在は、丹波篠山市及び丹波市の2市)が出捐し、本協会が設立された。
- 1993年にウィーン市13区ヒーツィング地区との間で友好親善提携宣言を行い、2023年に提携30周年を迎えた。
- 住民相互の派遣を中心とする人的交流をはじめ、国や民族、文化を超えた文化交流を実施している。特に、1989年に開始した親善訪問団の派遣は、その後も継続的に行われウィーンの森を訪問した丹波地域の人々は830名(1987年の視察団を含めれば845名)にのぼる。
- また、2015年のウィーン市13区長からの要望を受け、日本昆虫学会が日本の国蝶として選んだオオムラサキの飼育支援事業が開始している。ウィーン市のシェーンブルン動物園では、丹波地区から幼虫等の提供を受け、オオムラサキの繁殖に係る研究が行われている。
- 文化交流としては、シューベルティアードたんば音楽祭をはじめとするイベントを、継続的に開催。実行委員会に多くの地域住民が参加し、丹波文化団体協議会などの関係団体が密接に協働・連携することで長期にわたり活発な交流が行われている。
- 長い交流期間の中で、研究者等が主体となった科学分野での交流や地域住民が主体となった文化交流など幅広い層、様々な分野での交流が実現している。



1993年11月3日篠山町新たんば荘での調印式



オオムラサキ飼育支援交流の様子



丹波地域からの代表団訪問

第18回自治体国際交流表彰の受賞団体の取組について

和歌山県

交流先：インド共和国 マハラシュトラ州政府

- 2013年に観光及び農産品と食品加工分野における相互協力を目的とした覚書を締結したことをきっかけに交流を開始。覚書に基づき、和歌山県世界遺産センターとマハラシュトラ州アジャンタ・ビクターセンターが協定を結び、相互の世界遺産のパネル展示や広報PR、保全技術の交流を促進している。
- また、5年ごとに、より広い分野における相互の交流拡大を目指し覚書を更新するなど、継続的な活動が行われてきた。
- 現在は当初の交流分野に加えて、インド人日本語学習者の受入れなどの人材交流、インド伝統工芸士の受入れなどの文化交流及び青少年・スポーツ等の分野での交流も行っている。
- このような交流分野の拡大に伴い、行政のみならず、青少年、スポーツ関係者、世界遺産関係者及び議会など多くの主体が、積極的に関わって交流活動を実施している。
- 世界中の都市との間で姉妹都市交流が盛んに行われる一方、インド国内の自治体との交流はそれほど活発に行われていない。その中において10年に渡り交流を積み重ねており、こういった実績から、国内の他の自治体が、インド国内の自治体との交流を検討する際に和歌山県にアドバイスを求めるなど、日印の交流のゲートウェイとして、交流の拡大に大きく寄与している。



覚書締結10周年記念式典の様子



青少年交流(レスリング)への参加者



首都圏での共同観光PRイベントの様子

第18回自治体国際交流表彰の受賞団体の取組について

美郷町(島根県)

交流先：インドネシア共和国 バリ島マス村

- 1982年、美郷町(当時は旧邑智町)が国体のカヌー競技会場になったことがきっかけで、カヌー競技が盛んになり、1991年、カヌー博物館の開館の際のイベントとしてマス村から木彫り職人を招致し、カヌー製作を行ったことを契機に、1993年に友好協定を締結し、両自治体間で交流が開始。
- 30周年を迎えた令和5年度は年間を通じて町民のマス村訪問や記念式典、バリ文化を多く盛り込んだイベント等を開催している。
- 過去、マス村からの技術研修員や高校生のホームステイの受入れを行い、美郷町からは、毎年高校生が修学旅行でマス村を訪れるなど、長期間にわたり民間交流が続いた。
- インドネシアの伝統的な楽器「ガムラン」を使った音楽を演奏する団体が発足し、イベントでの演奏活動や、ガムランの中学校の授業での活用など、非常に独創的な交流活動を行っている。
- また、マス村と直接連絡を取り合い、バリ島内の住民に特化した技能実習生の受入れやマス村に十数年居住した経験を持つ方を地域おこし協力隊として委嘱し、地域住民とともにバリ島の伝統調味料「サンバル」を参考に、美郷町内の薬草を使った「みさとサンバル」を開発・販売を行うなど、経済交流や移住・定住にも繋がっている。
- このように、人的交流に加え、文化的交流や経済的交流が盛んに行われており、国際交流を関係人口の拡大や定住者の獲得など、地域活性化への取組に積極的につなげている。



マス村との友好協定30周年記念式典の様子



「ガムラン」修繕ワークショップの様子



マス村からの留学生受け入れの様子